



2015年3月期 決算説明会

富士機械製造株式会社

May. 2015

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

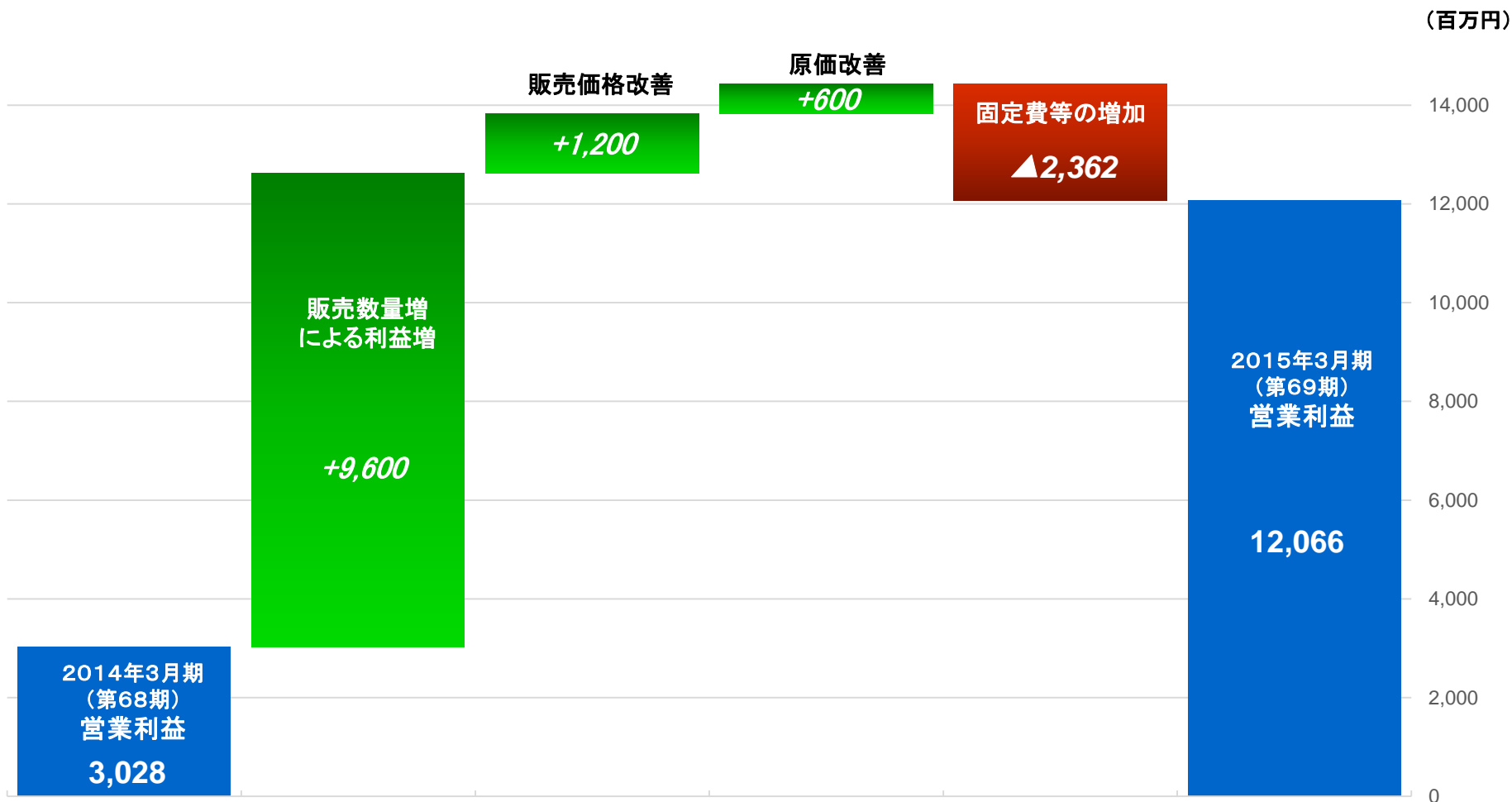
連結業績

連結業績実績

(単位:百万円)	13.4-14.3 実績	14.4-15.3 予想 (2月12日)	14.4-15.3 実績	対前期 増減	予想 増減 (2月12日比)
売上高	65,565	85,000	85,265	+19,699 30.0%	+265 0.3%
営業利益	3,028	10,500	12,066	+9,038 298.5%	+1,566 14.9%
営業利益率	4.6%	12.4%	14.2%	+9.6pt	+1.8pt
経常利益	3,786	11,300	13,026	+9,240 244.0%	+1,726 15.3%
当期純利益	2,592	8,000	8,629	+6,036 232.8%	+629 7.9%
一株当たり 当期純利益	円 26.52	円 81.83	円 88.27		
一株当たり 配当金	円 16.00	円 24.00	円 28.00		

連結業績

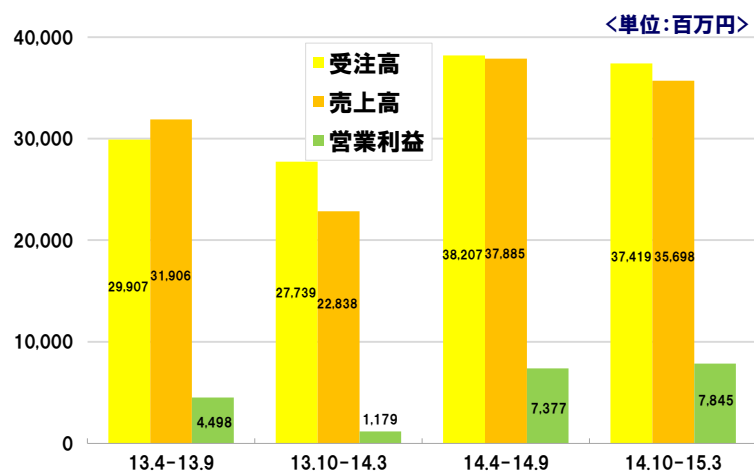
営業利益増減分析



連結業績

電子部品組立機事業

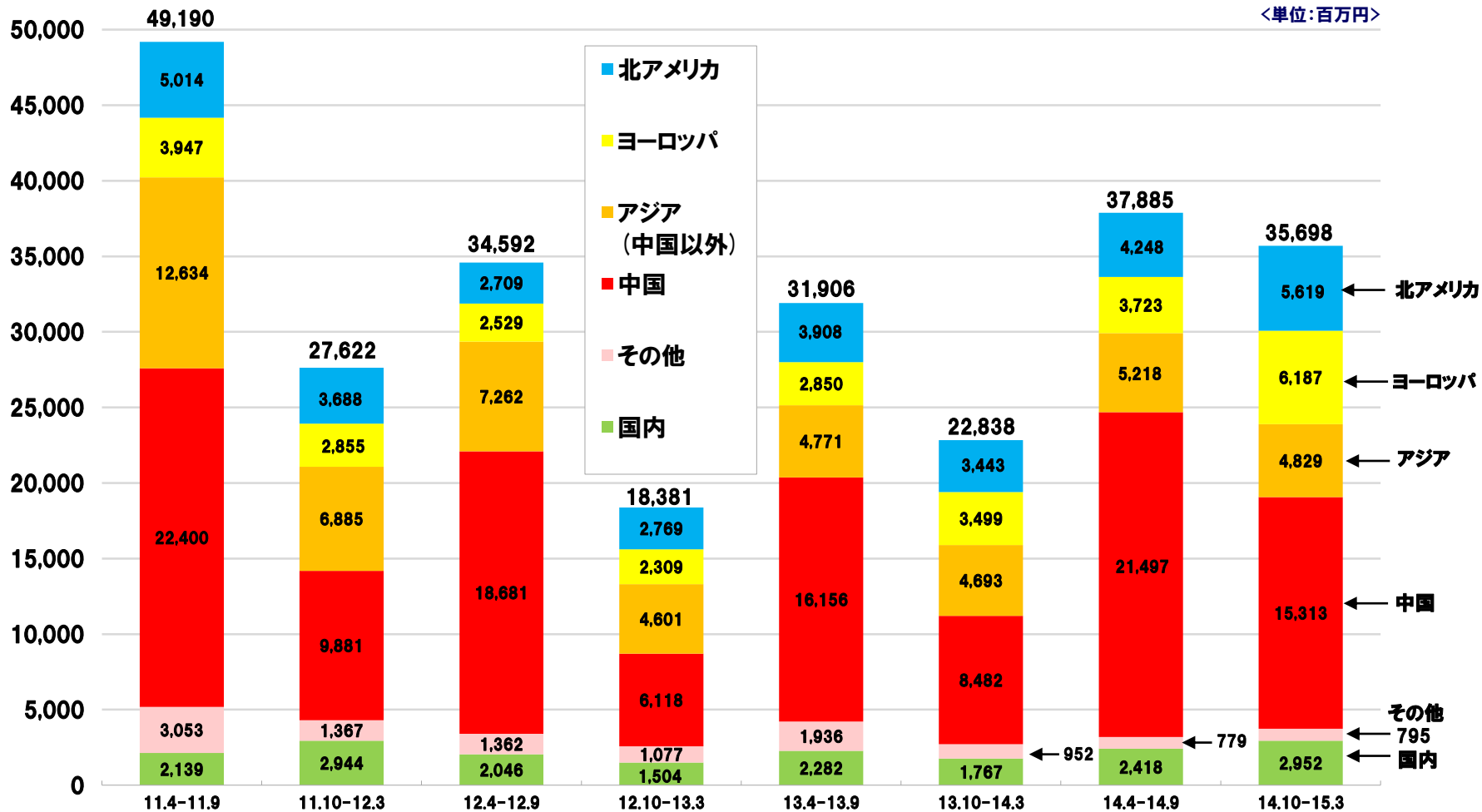
(単位:百万円)	13.4-14.3 実績	14.4-15.3 予想 (2月12日)	14.4-15.3 実績	対前期 増減	予想 増減 (2月12日比)
受注高	57,646	73,000	75,627	+17,980 31.2%	+2,627 3.6%
売上高	54,744	73,000	73,584	+18,839 34.4%	+584 0.8%
営業利益	5,677	—	15,223	+9,545 168.1%	—
営業利益率	10.4%	—	20.7%	+10.3pt	—



NXT III
Fuji Scalable Placement Platform

連結業績

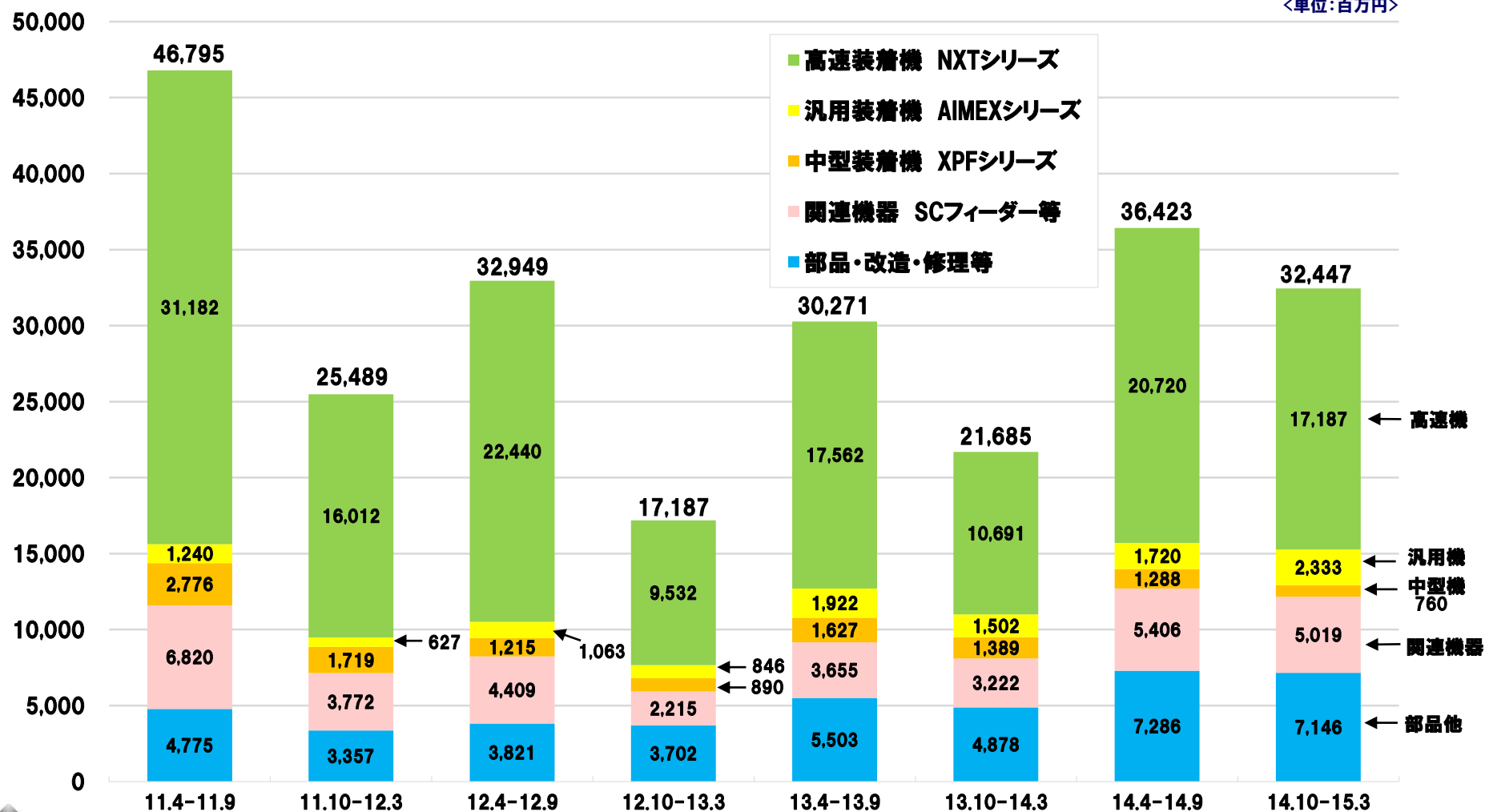
電子部品組立機事業 地域別売上高



単体業績

電子部品組立機事業
機種別売上高

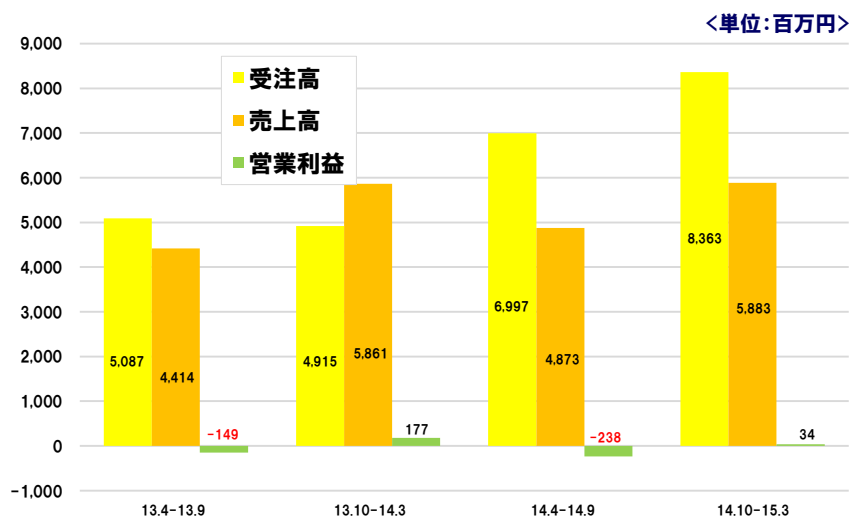
<単位:百万円>



連結業績

工作機械事業

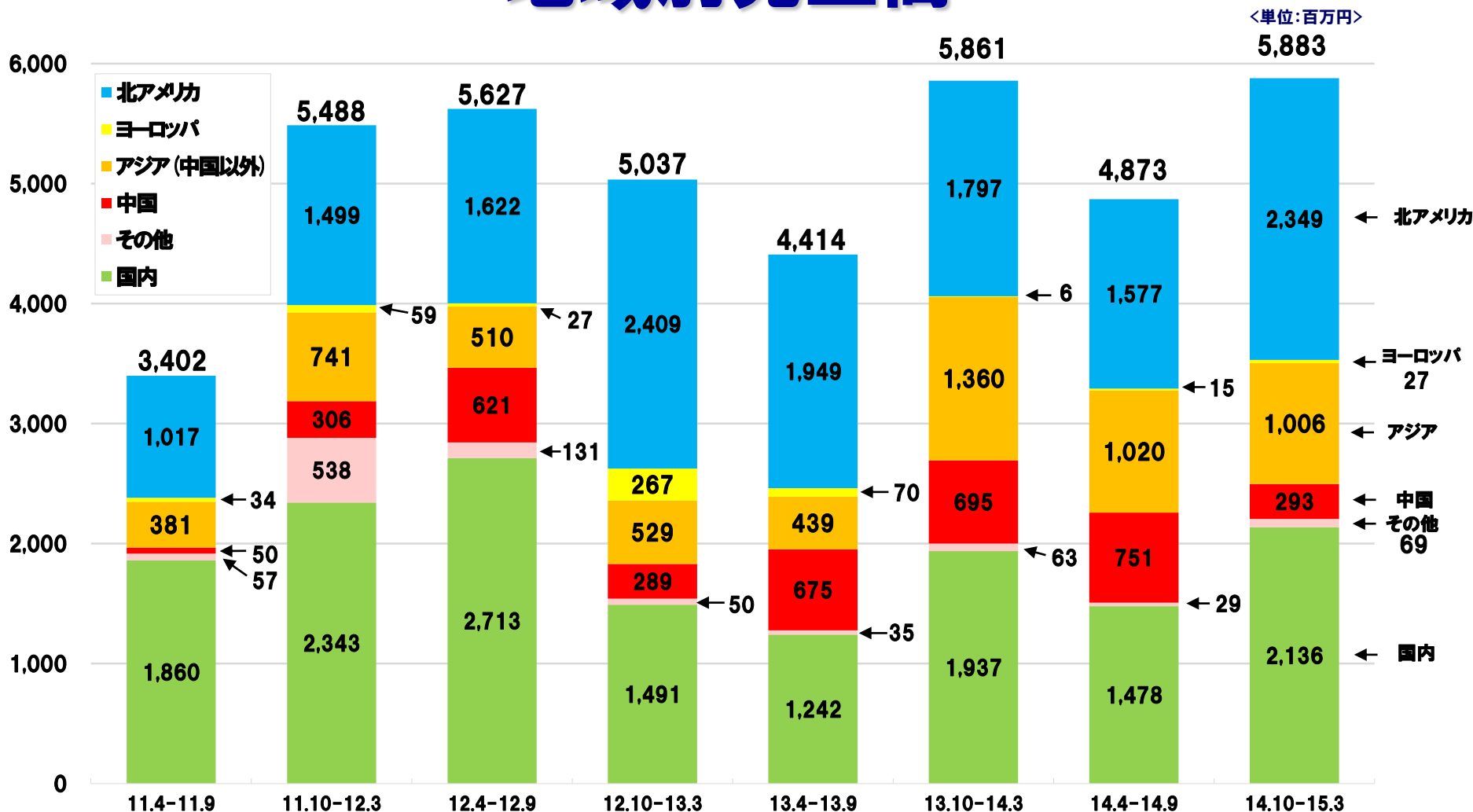
(単位:百万円)	13.4-14.3 実績	14.4-15.3 予想 (2月12日)	14.4-15.3 実績	対前期 増減	予想 増減 (2月12日比)
受注高	10,002	15,000	15,361	+5,358 53.6%	+361 2.4%
売上高	10,275	11,000	10,756	+480 4.7%	△243 △2.2%
営業利益	27	—	△203	△231 —	—
営業利益率	0.3%	—	△1.9%	△2.2pt	—



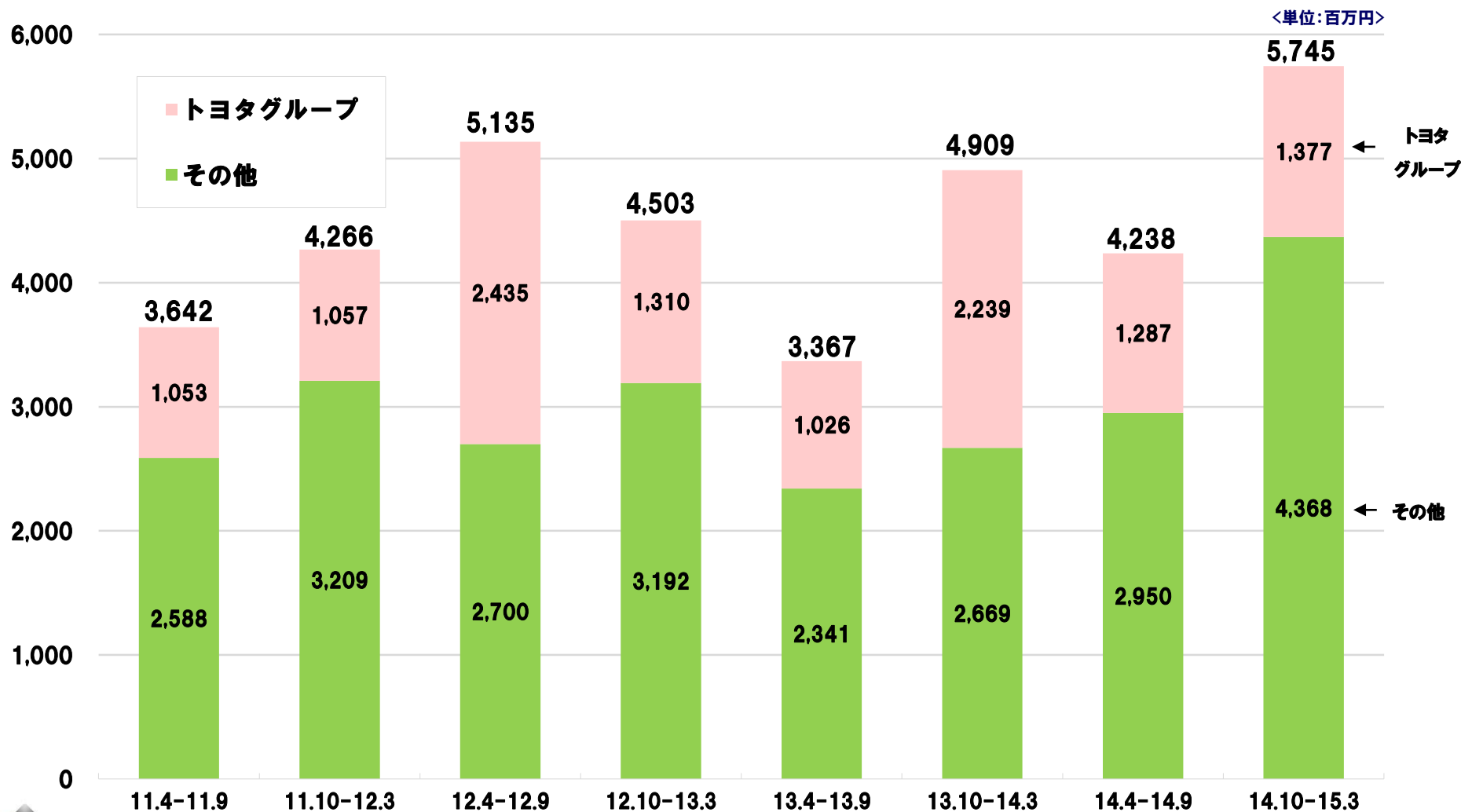
TN300

連結業績

工作機械事業 地域別売上高



単体業績

工作機械事業
主要ユーザー別売上高

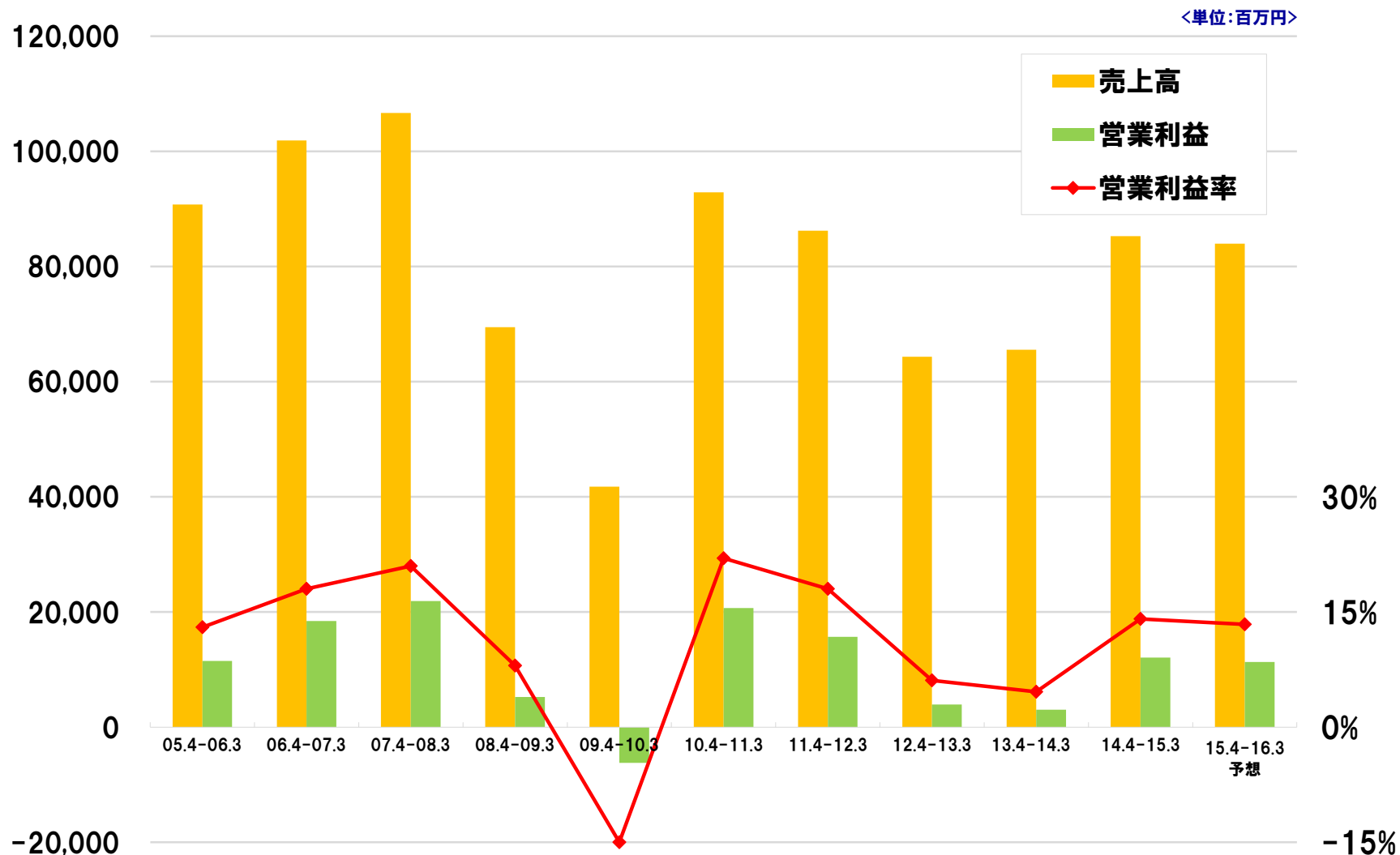
業績予想

連結業績予想

	14.4-15.3 実績	15.4-15.9 上期予想 (5月8日)	15.4-16.3 通期予想 (5月8日)	対前期 (通期) 増減
(単位:百万円)				
売上高	85,265	46,000	84,000	△1,265 △1.5%
営業利益	12,066	7,400	11,300	△766 △6.4%
営業利益率	14.2%	16.1%	13.5%	△0.7pt
経常利益	13,026	7,600	11,600	△1,426 △10.9%
当期純利益	8,629	5,100	7,600	△1,029 △11.9%
一株当たり 当期純利益	円 88.27	円 52.17	円 77.74	
一株当たり 配当金	円 28.00	円 14.00	円 28.00	

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結セグメント

受注高

売上高

受注残高

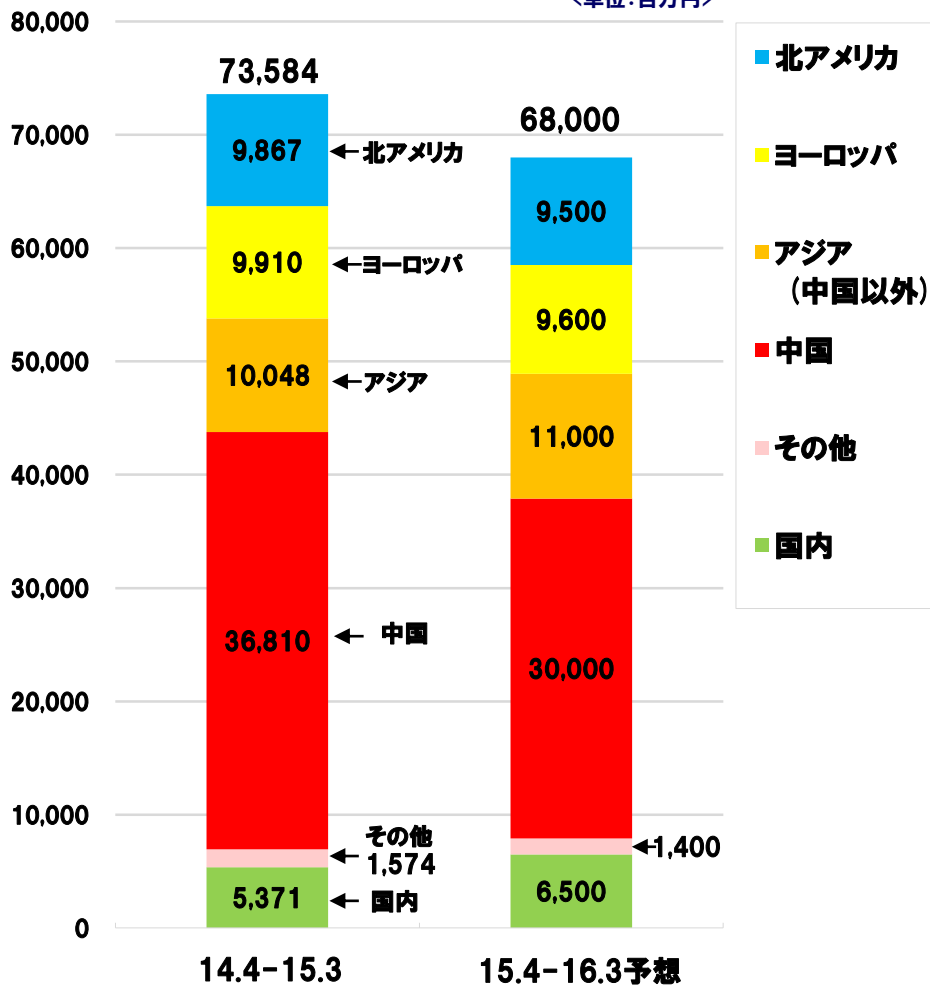
(単位:百万円)	受注高			売上高			受注残高		
	14.4-15.3 実績	15.4-16.3 予想 (5月8日)	対前期 増減	14.4-15.3 実績	15.4-16.3 予想 (5月8日)	対前期 増減	15.3 実績	16.3 予想 (5月8日)	対前期 増減
電子部品組立機	75,627	66,000	△9,627 △12.7%	73,584	68,000	△5,584 △7.6%	11,688	9,688	△2,000 △17.1%
工作機械	15,361	14,000	△1,361 △8.9%	10,756	14,000	+3,243 30.2%	8,417	8,417	— 0.0%
その他	1,030	2,000	+969 94.0%	924	2,000	+1,075 116.3%	235	235	— 0.0%
合計	92,019	82,000	△10,019 △10.9%	85,265	84,000	△1,265 △1.5%	20,341	18,341	△2,000 △9.8%

業績予想

電子部品組立機事業

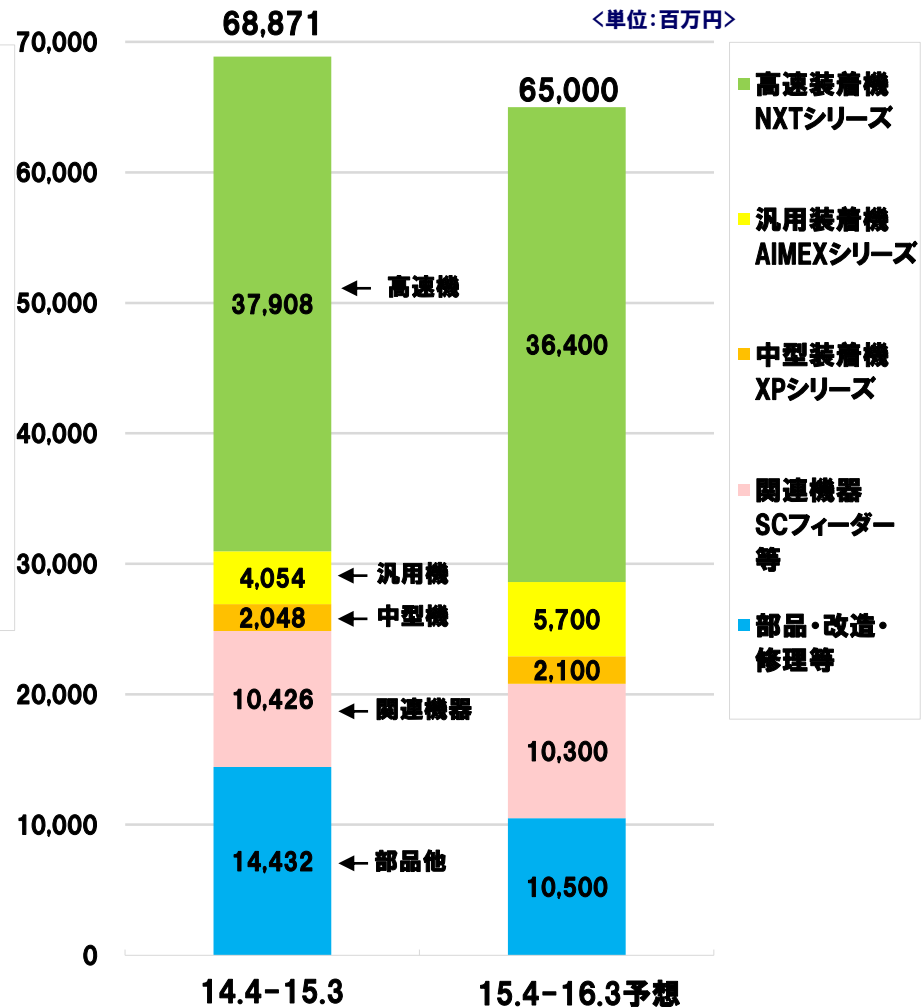
地域別売上高(連結)

<単位:百万円>



機種別売上高(単体)

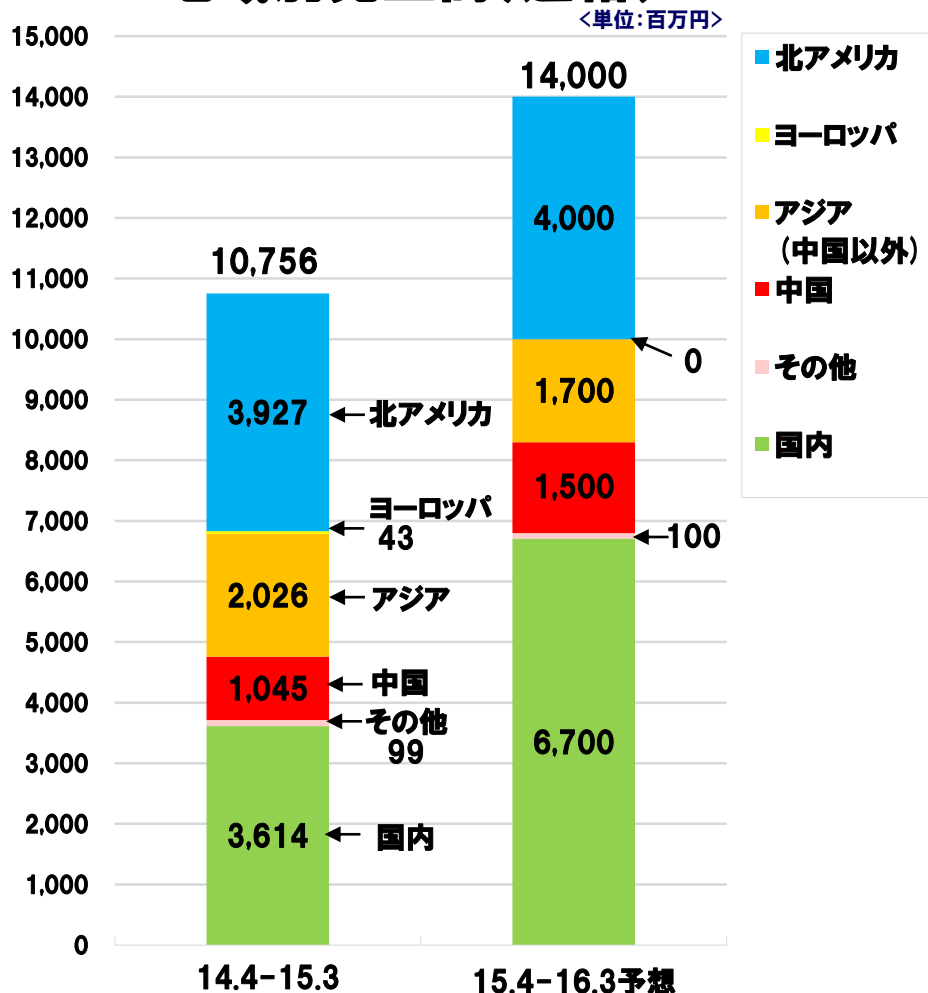
<単位:百万円>



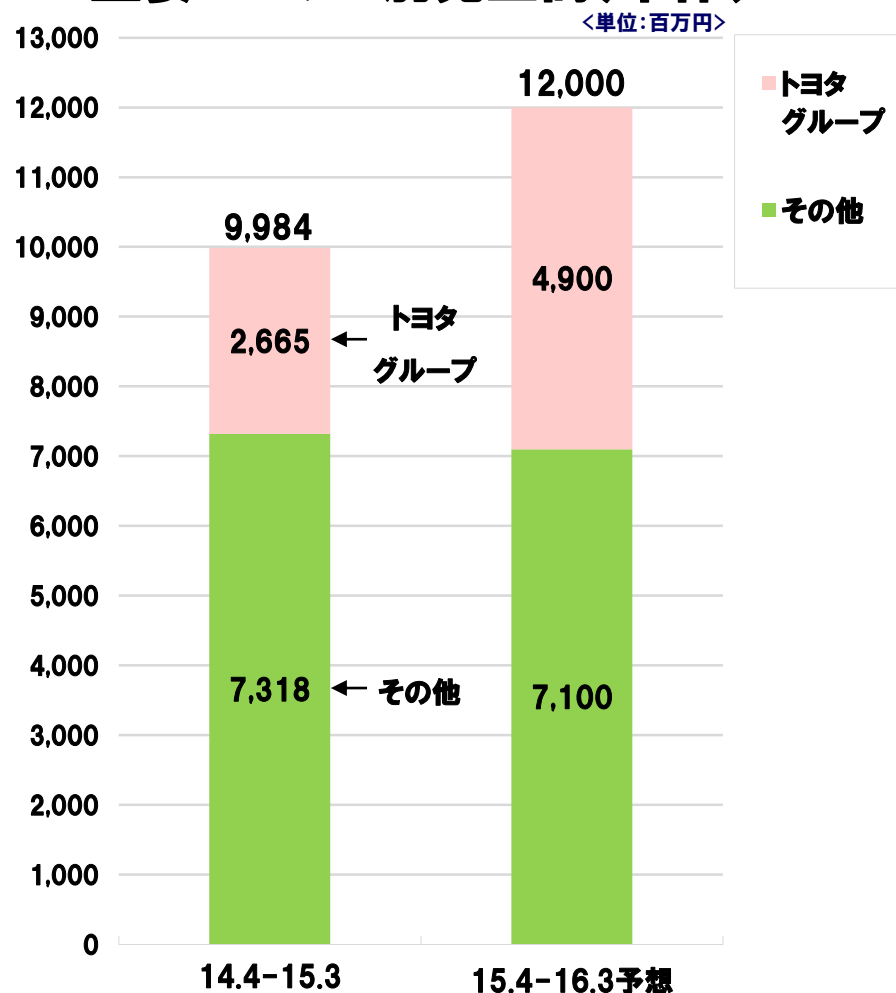
業績予想

工作機械事業

地域別売上高(連結)



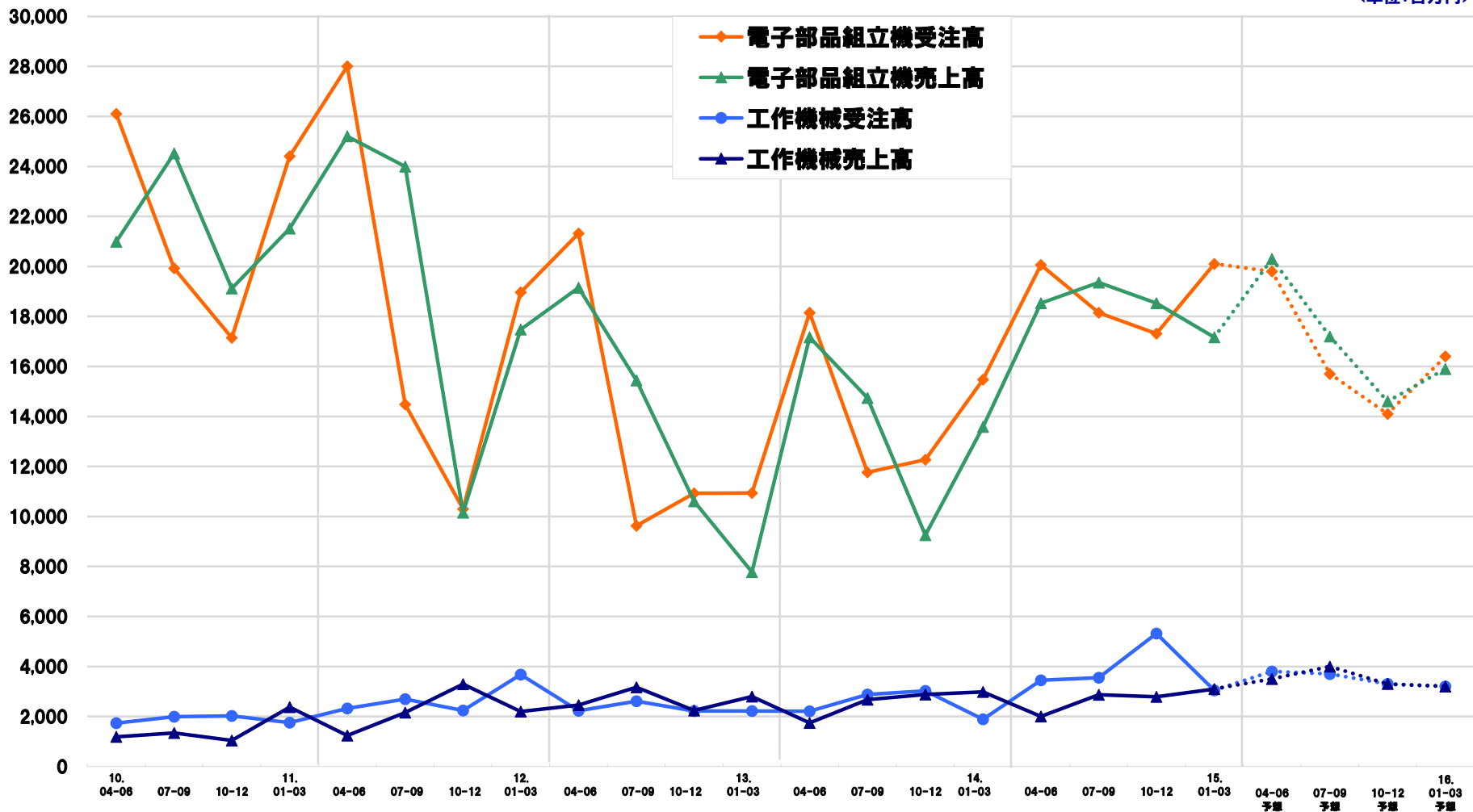
主要ユーザー別売上高(単体)



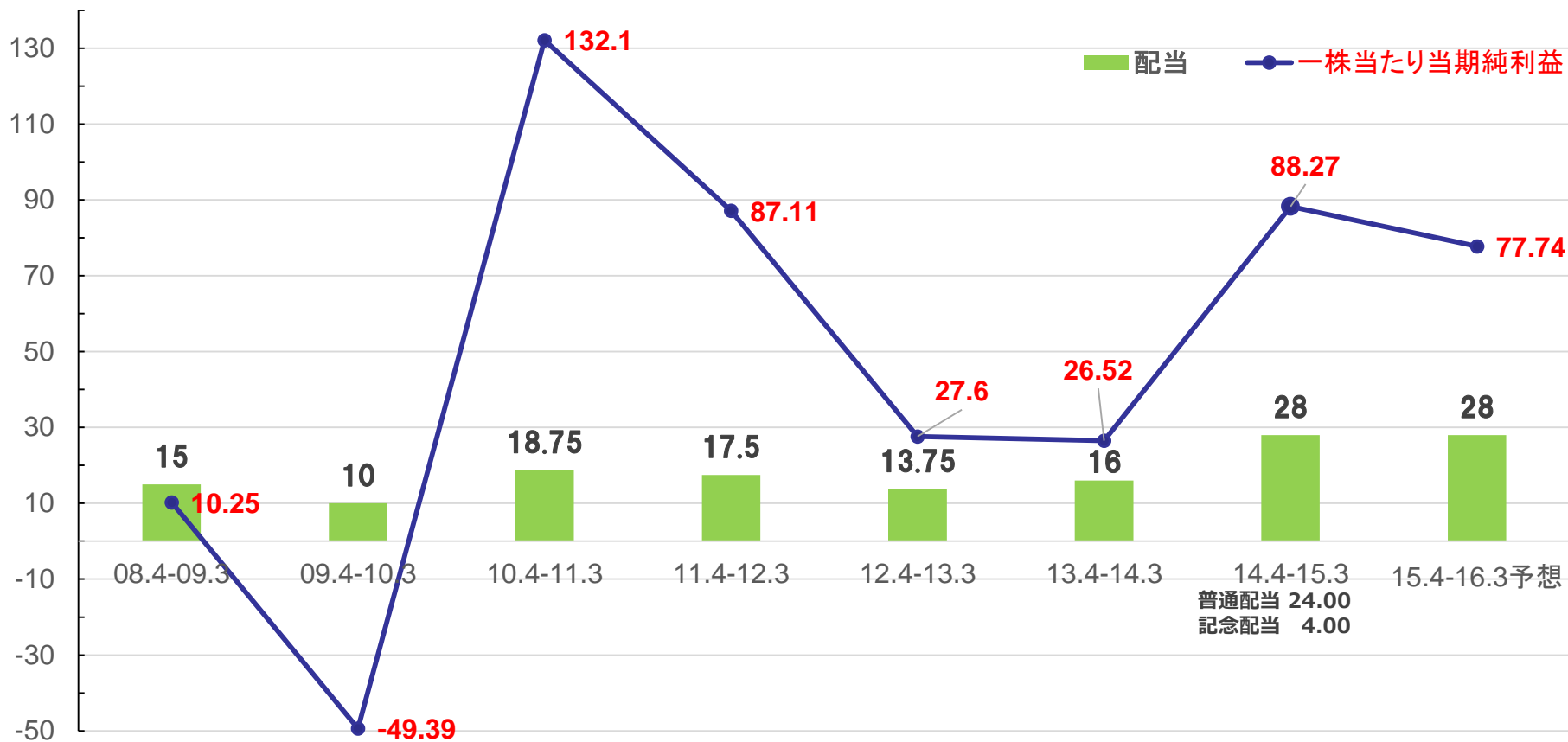
業績予想

四半期別連結受注高・売上高

<単位:百万円>



1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



	08.4-09.3	09.4-10.3	10.4-11.3	11.4-12.3	12.4-13.3	13.4-14.3	14.4-15.3	15.4-16.3 予想
配当性向	146.3%	△20.2%	14.2%	20.1%	49.8%	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	36.0%

注: 2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

() 普通配当の配当性向

上記では当該株式分割が2009年3月期の期初に行われたと仮定して算出しております。

中期経営目標(2015~2017)

新しい価値を創造し、名実ともに1,000億円企業を実現

電子部品組立機

『ネクストステップ 30』

- ・次期戦略機の市場投入
- ・市場開拓とサービスの強化
- ・ものづくりの革新

工作機械

『Challenge 200』

- ・構造改革による利益体質構築
- ・販売・サービス力の強化
- ・生産改革

新規開発

『新事業創出』

- ・ロボットイノベーションの中核となる新事業の創出

世界有数のロボットメーカー

『企業価値向上に向けた全社的取組み』

- ・コンプライアンスの遵守
- ・ワークスタイルの変革
- ・戦略的財務・経理体制の強化と推進
- ・グローバルな情報開示と広報の充実

お客様に
感動を！

電子部品組立機事業

事業部方針

『ネクストステップ30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- ▶ アメリカは堅調。欧州は足踏み傾向から回復基調。
- ▶ 中国は減速感あるが成長率維持。
- ▶ 日本国内、総じて好調を継続。

■マウンター需要

- ▶ 市場規模：2014年度 約2,500億円(上期1,400億円、下期1,100億円)
2015年度 約2,300億円(上期1,300億円、下期1,000億円)見込

▶ 展 望 :中国中心に底堅く推移

業界再編と提携の加速(提案型営業需要の増加)

通信端末中国ローカルブランドの淘汰・統合

自動車部品の電子化増進

(燃費軽減、安全対策、情報処理システム)

電子部品組立機事業

事業戦略

『お客様第一主義に基づく需要の創出』

営業

- ▶ 成長市場(車載、スマート機器関連)ユーザーの獲得
- ▶ SMT前後工程市場の攻略
- ▶ 顧客満足度の高い提案型営業
- ▶ 顧客現場改善サービス力の向上

開発

- ▶ スピード感ある新製品開発、ソフトウェアの強化
- ▶ 高付加価値実装、自動化・省人化対応
- ▶ 徹底したVA、コストダウン設計
- ▶ I-4.0、IoTへの対応推進

生産

- ▶ 競争を圧倒する品質の提供、短納期対応
- ▶ サプライチェーン改革によるQCDD向上
- ▶ フレキシブルな生産体制構築

電子部品組立機事業 主要製品紹介

50,000モジュール出荷達成



NXT III



AIMEX II



AIMEX II S



NXTP-M25



SFAB



ToughPlasma

工作機械事業

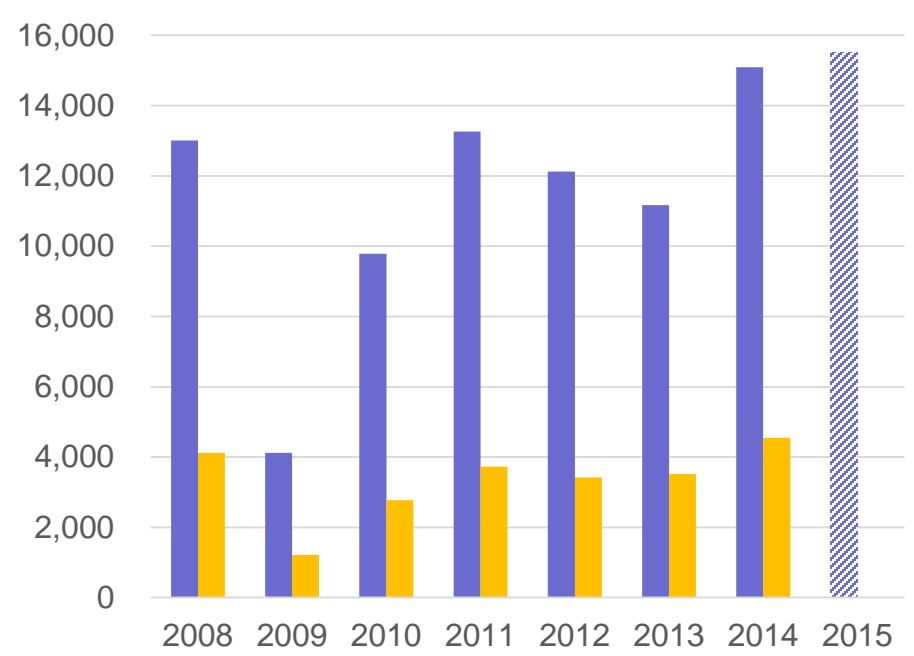
事業部方針

『安定した利益体質の構築』

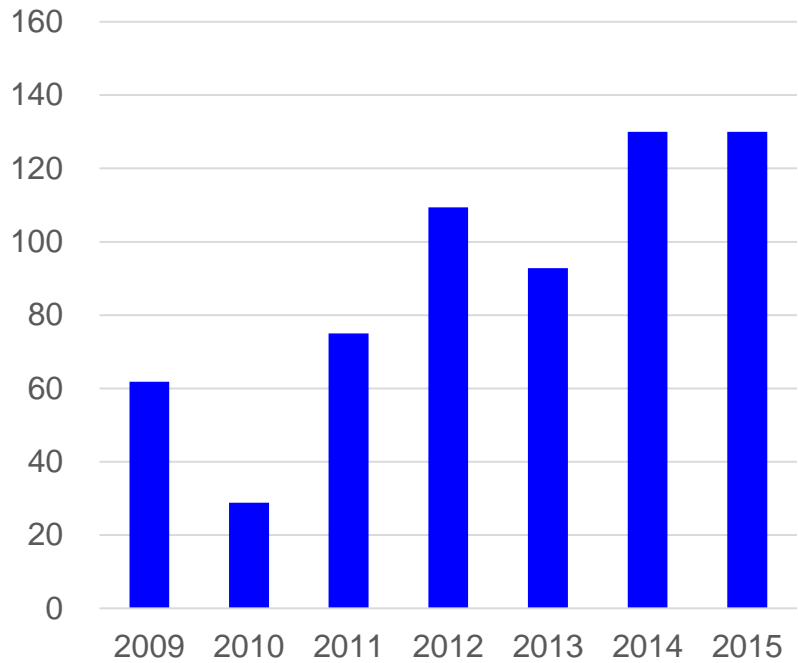
事業環境

- 内需が堅調な伸び、外需も高水準続く
 - 2015年受注目標 は1兆5,500億円（日工会）
 - 2014年受注は1兆5,000億円を突破し、リーマン・ショック後の過去最高額を更新
 - 緩やかな回復により今年も引き続き堅調な更新需要見込まれる

億円 工作機械(日本製)受注推移



億円 FUJI受注推移



■ 日工会受注 ■ 旋盤 日工会 工作機械統計より

■ FUJI



工作機械事業

事業戦略

『マーケットイン志向の徹底による売上・利益の向上』

営業

- ◆ 国内外の販売網の強化
新規ユーザーの取り込みとグローバル販売の強化
- ◆ グローバルサービスサポート体制の拡充
- ◆ DLFnの拡販

開発

- ◆ DLFn新モジュール開発
- ◆ 徹底したVA、コストダウン設計

生産

- ◆ 品質向上、短納期対応
- ◆ 生産効率30%アップ

工作機械事業 主要製品紹介



TN300
スタンダードな横型
NC旋盤



CSD300
省スペース正面2スピンドル



DLFn 革新的モジュール型生産設備

事業展開

既存事業のさらなる拡充

- 電子部品実装ロボット
- 工作機械
- 組立ロボット
- プラズマ処理装置



モジュール型多機能装着機
「NXT III」



モジュール型生産設備
「DLFn」



モジュール型自動組立機
「SmartFAB」

既存技術を応用した新分野への事業展開

- サポートロボット
- パブリックストックシステム
- シリアルリンクロボット



サポートロボット
(開発中)



パブリックストックシステム
(実証実験中)



超高密度大気圧プラズマユニット
「Tough Plasma」



シリアルリンクロボット
(開発中)

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。

株主の権利・
平等性の確保

株主以外のステーク
ホルダーとの適切な
協働

株主との対話

取締役会等
の責務

適切な情報開示と
透明性の確保

1. 株主の権利・平等性の確保

- ・英文開示の充実
- ・招集通知の発送前電子開示

2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働

- ・女性の活用を含む社内の多様性の確保
- ・取引先・地域社会との絆
- ・生き生きと働ける活力ある職場づくり

3. 適切な情報開示と透明性の確保

- ・コーポレートガバナンス報告書等への開示
- ・ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示

4. 取締役会等の責務

- ・取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
- ・独立社外取締役の活用

5. 株主との対話

- ・IR説明会開催、SR面談の随時対応

